実務セミナー　　関連部署にご回覧ください

教科書的なプロジェクトマネジメントが設計を弱体化させる！

製品開発を高度化する プロジェクトマネジメント実践講座

～納期管理だけ徹底しても納期遅延は無くならない!原価管理は結果の差異分析だけではNG！
品質管理のように進めよ！　実践的な開発工数削減！納期・品質・原価管理を解説～

日時 2020年 1月 23日(木) 10:00～17:00
（9：30 受付開始、休憩 12：30～13：30）

主催 日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）

受講料 44,000円（資料含む、消費税込）
＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。
（記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください）

会場案内図　日刊工業新聞社セミナー会場

【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅（A2）出口より徒歩3分
東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅（8番）出口より徒歩4分
都営浅草線 人形町駅（A6）出口より徒歩3分

日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
【アクセス】
東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。（http://corp.nikkan.co.jp/seminars/）受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせて頂きます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義				
㈱日刊工業新聞社	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申 込 先　日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
TEL 03（5644）7222　FAX 03（5644）7215
e-mail：j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

1/23 プロジェクトM　　お申し込みは FAX 03-5644-7215

■受講料：44,000円（資料含む、消費税込）＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円　　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ / 部署・役職	TEL	
		FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。 □
備考			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190454

個人情報の取り扱いについて
ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。　【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

開催にあたり

昨今、顧客要求は多様化し、設計開発業務の工数・難易度は高まり続けています。
「納期遅れが減らない」
「納期優先で原価検討が後回し…結果予想外のコストアップ」
貴社の設計開発業務でも発生しているのではないでしょうか。
こうした現状に危機感をもち、設計開発業務のプロセス「見える化」やタスクを詳細定義、
納期管理・変更管理を細かく厳密に行う、「教科書的なプロジェクトマネジメント（以下「PM」）」に取り組む企業が増えておりますが、ほとんど上手く機能していないのが実態です。

その大きな理由は、**製造の工程管理手法をそのまま流用していること**です。
例えば、見える化/フローチャート化を設計開発分野でとにかく詳細に網羅しようとすると、とても管理しきれない膨大な量になり、泥沼化の原因となります。

設計開発業務には、**設計開発業務のためのPM**が必要です。製造の工程管理手法をそのまま当てはめようとしても決して上手く機能しません。
本講座では、頻発する納期遅延・工数増加を防ぐために、どのように「設計開発業務プロジェクト」を管理していくべきか【開発プロセス標準】や【技術標準】をどのように整備していくのかを解説いたします。
納期・品質優先で原価目標が犠牲になる「開発」にせず、製品競争力とコスト競争力を両立させるための情報基盤システムの整備についても解説いたします。
管理のための管理、管理の泥沼化に終止符を打ち、製品開発高度化、納期短縮・コスト削減を両立させるPMを実践していってください。

講　師

プリベクト 代表　**北山 一真** 氏

［略歴］技術経営コンサルタント
IT系コンサルティング会社、製造業系PLMコンサルティング会社ディレクターを経て、プリベクトを設立。
設計と原価の両側面から抜本的な企業変革を取り組む。設計標準化／高度化、MD、製品開発マネジメント、原価企画／原価見積、管理会計などを得意とする。
東京大学ものづくり経営研究センター管理会計研究会員、日本モジュラーデザイン研究会員、日本管理会計学会員、日本原価計算研究学会員 など
［専門］製品開発マネジメント、設計標準化、製品企画、MD、開発購買、製品情報管理（BOM）、PLM、顧客価値会計、意思決定会計、原価企画、DTC（DesignToCost）、ライフサイクルコスティング、売価企画、見積管理、品質コストマネジメント、原価管理
［所属］東京大学ものづくり経営研究センター　ものづくり管理会計研究会員／日本管理会計学会員／日本原価計算研究学会員／日本組織会計学会員／J-Cost 研究会員
［著書］『赤字製品をやめたら、もっと赤字が増えた！儲かる製品を実現するコストマネジメント』（日刊工業新聞 2009年）、『ものづくり復活の会計術』（日経BP社 ものづくりTech-on 2010年）、『再考・原価低減 コストのわかる設計者になろう』（日刊工業新聞社 機械設計 2010年-2011年）、『ITアーキテクトのやってはいけない 第4章業務分析、要件定義』（執筆協力 日経BPムック 2011年）、『プロジェクト・マネージャの「やってはいけない」』（執筆協力 日経BP社 ITpro 2012年）、『プロフィタブル・デザインー利益獲得設計ー』（日経テクノロジーオンライン 2015年）など多数

プログラム

Ⅰ. 設計・開発管理の問題点とあるべき方向性
1）なぜ納期遅延が頻発するのか？
…納期遅延発生メカニズムを理解する
2）従来型のプロジェクト管理の本質的な問題点

Ⅱ. 開発管理のあるべき方向性
1）納期管理を適正にする
a. 漏れなく細かくタスクを洗い出して管理！では上手く機能しない理由
b. 納期だけ徹底管理しても、納期遅延は止まらない
…納期管理と着手管理。
C. バッファマネジメント
…PJ マネージャーの能力の差がここに出る。
2）原価管理を適正にする
a. 予算管理は差異分析を徹底して行っても意味が無い
…設計開発に適した予算管理の考え方
b. コストフォローの考え方
3）品質管理を適正にする
a. 流用設計の孕む問題点
b.　2つの過剰を取り除け

Ⅲ. 標準プロセスの構築ポイント
1）設計開発業務フローは詳細に作れば良いわけではない。
…誰のための業務フローなのか？業務フローの可視化のポイント
2）業務フローからリードタイム短縮の検討方法
3）効果的なフロントローティングのあり方
4）マイルストーン /WBS 管理
5）タスク管理 /ToDo 管理

Ⅳ. プロジェクト管理システム（タスク / 納期管理）のあるべき姿
1）成果物を中心とした納期を管理
2）成果物のステータスを管理
3）クラウドを利用し、社外を巻き込んだタスク管理